



次期区ビジョンまちづくり計画策定

北区自治協議会 ワークショップ報告

2021.11.25/豊栄地区公民館
作成：NPO 法人まちづくり学校

1. 開催概要

- 日時：2021年11月25日（木）13：30～15：30
- 会場：豊栄地区公民館 301 会議室
- 自治協議会委員数：30名／当日出席 名
- 企画運営：NPO 法人まちづくり学校
 - 〈進行〉メインファシリテーター 石本貴之
 - グループファシリテーター 五十嵐玲子・乙川千香・佐野智香・田中洋志・渡邊彩
- 達成目標：自治協議会委員によって、これまでの取り組みが評価され、そこから得られた課題から今後の区の方角性に関する意見が集まっていること。
- プログラム：次ページのとおり。
 - ワークショップは以下の「目指す区の姿」ごとにグループを分けて進行した。
 - 1 「豊かな自然と共生するまち」～自然環境の保全と積極的な活用
 - 2 「都市機能が充実したまち」～都市基盤の整備
 - 3 「活力ある産業のまち」～魅力ある産業の振興
 - 4 「学びあい、健康で、人にやさしいまち」～学びと健康・福祉の充実
 - 5 「安心安全で暮らしやすいまち」～安全で快適な環境づくり

ワークショップ開始時には、進め方の説明とグループごとに「北区の強み」を出し合い、意見交換の促進を図った。

これまでと
これからを
考える

区ビジョンまちづくり計画策定 北区自治協議会ワークショップ

日時：2021年11月25日（木）13：30～15：30

会場：豊栄公民館 301会議室

プログラム

- 13:30 オープニング
あいさつ・趣旨説明・スタッフ紹介・プログラムの説明
- 13:40 ワークショップ～北区のこれまでとこれからを考えよう！
13：40～ 北区の強みを探そう！
13：55～ これまでの取り組みに対する各自の評価意見の発表と共有
14：30～ 今後の方向性についての意見交換
評価や今後の変化などを踏まえ、これから進むべき方向や
重きを置く取り組みなどについて
- 15:05 グループワークの全体発表
1グループ2分で意見交換の結果を発表していただきます。
- 15:25 クロージング
ふりかえりシートの記入・事務連絡など
- 15:30 終了

Memo _____

準備運動「北区の強みを探せ！」



北区の強み・自慢をたくさん書き出そう！

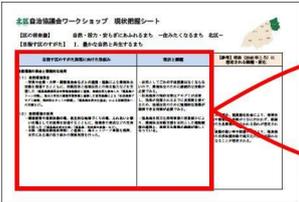
- 1つの付箋に1つ書いてください
- 人・物・場所・自然・歴史など何でもOK
- あなたの主観で思いついたことでOK
- 他の人と重複は気にしないでください
- 一番多く出たグループの勝ち！
- 制限時間は5分です



ワーク①「これまでの取り組みの評価」

ご自身のグループテーマに該当する現状把握シートを参照のうえ、プラス(黄)・マイナス(ピンク)のご意見を付箋にご記入ください。

※1枚の付箋には1つのご意見をお願いします。



プラス評価
良かったこと
良くなっていること
今後も続けること

マイナス評価
悪かったこと
悪化していること
改善を要すること

まとめシート

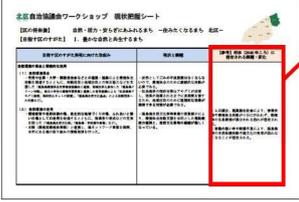
(2021.11.25) 次期区ビジョン策定に向けた北区自治協議会ワークショップ
1.豊かな自然と共生するまち：自然環境の保全と積極的な活用

事業	プラス評価 良かったこと、今後も続けること	マイナス評価 悪かった、改善を要すること	2030年の方向性 今後、取り組んでみると良いこと、新たに試みると良いこと
(1) 自然環境の保全	福島県に来訪者増	不法投棄	
(2) 自然環境の活用	福島県に来訪者増		

付箋を「まとめシート」に整理して貼り付けていきましょう。同じ意見だと思われる付箋は集めてひとかたまりにして、かたまりごとに名前もつけてみてください。

ワーク②「今後の方向性の意見交換」

2040年に想定される課題・変化を見た上で、これから進むとよい方向性や重点的に取り組むとよいことについて緑の付箋に書いてご意見をお聞かせください。



2030年時点で
どんな方向性
どんな取り組み
が大切になる???

ワーク②「今後の方向性の意見交換」

2040年の課題や変化から逆算して、2030年の方向性、重点的に取り組むとよいことを考えます。

今後の課題や変化が解消された理想の状態

2021年 → 2030年 → 2040年

2030年時点で
どんな方向性
どんな取り組み
が大切になる???

全体発表

グループごとに順番に発表していきます。

どんな評価があったか、どんな方向性が見えてきたか、簡潔に2分でお話ください。

発表ごとに質問や感想をいただく時間を少し取ります。

■ワークショップのようす



2. グループワークのまとめ

■現在の「目指す区のすがた」に対する今後の方向性（一覧）

I. 豊かな自然と共生するまち：自然環境の保全と積極的な活用

- まちに暮らす人、関わる人が情報を周知・受取りやすいシステムをつくる。
- 自然環境保全のための情報共有・研究とともに、担い手の育成と生きがいや喜びに繋がる自治活動への支援を行う。
- 心地よい空間づくりのために継続的な環境整備を行う。
- 潟・海など豊かな生態系、自然環境を生かした環境教育を推進し、人と自然がふれあう場を充実していく。

II. 都市機能が充実したまち：都市基盤の整備

- 道路・インフラ整備の優先順位をつけ、公共交通のニーズに応じた運行の見直しを進めていく。
- 長期に渡るハード事業推進への理解と意識醸成のためシンポジウムなどのソフト事業を行っていく。
- 大学との包括連携による中長期的なビジョンを形成し、投資的な取組を進める。
- 少子高齢化が進む中で、移住／定住人口増加につながるインフラ整備を意図する。

III. 活力ある産業のまち：魅力ある産業の振興

- 空き家・空き店舗の有効活用（リノベーション）による新しい価値創出を通じた地域活性化を行う。
- 大学生やブランドのコラボによって、北区でしか手に入らない商品を開発し、地域の発信力・魅力を高める。
- 小・中・高と子どものころから農業に触れる機会を増やし、関心を持ってもらうことで、農業の承継・新規就農につなげていく。
- 空きハウスの活用や燃料代の補助など、現役農家が農業を続けていけるための支援を拡充していく。
- 生産性向上や次世代継承のための技術研修・専門家派遣など農業のICT化を推進する。
- 高速道路への導線をつくり、より利便性の高い交通網を整備する。
- 子どものころから祭りに参加をしてもらい、地域への誇りを醸成するとともに後継者を育てていく。
- 大学生がまちに訪れたい、関わりたい、住みたいと思える環境をともにつくっていく。

IV. 学び合い、健康で、人にやさしいまち：学びと健康・福祉の充実

- ターゲットに応じて、確実に情報が届けられるツールを使い分ける。
- 住民自身が情報を寄せるとともに、必要な情報が集約されるような仕組みをつくる。
- 次の担い手を見つけ、担い手としての活動に繋げていく参加のはしごを用意する。
- 自治活動のポジティブな価値を見出し、伝え、広げていく。

- 地域と学校とがつながり合って、地域にある資源（人・モノ・コト）を活かしながら次世代を育成していく。
- 参加対象者が参加しやすいように、既存の行事等を組み合わせて参加の垣根を下げる。

V. 安心安全で暮らしやすいまち：安全で快適な環境づくり

- 平時からの地域の防災力をより向上させ、発災時の対応力を向上する。
- 高齢になっても誰もが安心して暮らせるような地域づくりを行政と協働してつくりあげる。
- 食生活改善・運動推進によって健康寿命の延伸をはかり、地域に元気な高齢者を増やしていく。
- まちづくりやコミュニティに対する関心を高め、高齢者・子育て世帯・若者・外国人など誰もが参加しやすい状況をつくる。
- 人生の先輩のサポートが得られ、若い世代が子どもを生み、育てやすいまちづくりを行う。
- 行政のサポートも得ながら、若い人の参画を促し、自治会・町内会の強化を図る。
- 運動（スポーツ）ができる場所を確立する。

■各グループの意見と集約

I. 豊かな自然と共生するまち【1班】

これまでの取り組みの評価	
自然環境の保全と積極的な活用	
(1) 自然環境保全	豊かな湿地のファンがいる（福島潟、ひょうたん池、内沼潟、十二潟）
	アキグミ植栽の環境保全活動は続ける事業である
	海岸のアキグミ植栽（後の活用に期待、継続的取り組み、学習活動として活用）
	松の植栽が進んでいる
	各団体によるクリーン作戦が継続している
	福島潟クリーン作戦
	多様性生物を大切にした保全事業
	自然環境の保全と積極的活用（地域の声も反映されている）
	飛砂防止には時間がかかる、短期的な対策が必要
	松林の保全（松くい虫の被害）
マイナース	休耕田の管理
	文化基金（補助金制度の見直しがされていない）
	福島潟文化基金の宣伝不足がある（基金の減少）
	道路の傷みが多い
	大学周りの環境が良くない
	北区の魅力発信UP!!（PR不足）課題 知る人ぞ知るじゃもったいない
	人口減少（魅力発信者の減少、継承への心配）
	小中学生と地元の応援による共生
	大学の学部増（生徒増）
	高校生の協力によるPR動画（福島潟）
(2) 自然環境の活用	福島潟の遊歩道整備による来訪者の増加
	絶滅危惧種の動植物についての学習活動が各学校で取り組まれている
	松浜海岸に釣り人が多く、多くの人が来てくれることは良い
	海岸線の活用（自然・交通）
	自然環境の活用、人と自然のふれあいの場の充実
	相互交流が少ない（豊栄⇄松浜）
	生物多様性のために継続的に出来ることをしていく担い手不足
	松浜海岸に釣り人が多くゴミ問題がある
	ゴミの不法投棄は地域にしか伝わっていない、区での課題と区民に伝わっている？
	空き家対策が必要、廃家的が多くなってきている
マイナース	空き家が多くなっている
	高齢者が住んでいる
	冬の地吹雪の危険性→看板だけでは・・・

今後の方向性(付箋)	今後の方向性(統合文)
自然環境の保全と積極的な活用	
<ul style="list-style-type: none"> 自分の地域、まずは知る 顔が見える学校・社会・民(地域)の連携、学びの場・地域貢献の場(学びや役立っ喜び) 高齢者の一人暮らしの見守り対策 あかるい(顔が見える)地域作り 	まちに暮らす人、関わる人が情報を周知しやすいシステムをつくる
<ul style="list-style-type: none"> 市、潟サミット(水辺)佐潟、鳥屋野潟、福島潟、ひょうたん池、内沼潟、十二潟、他区との連携・交流 オオセンクイ越冬地周辺の分散化(環境保全) 絶滅危惧種の確認と環境保全、調査研究の継続 参加型保全(マコモ植栽・アキグミ植栽) 企画も関わってもらう 花火 イベントの施策は集約してゆく(中味を)人口減少による担い手不足 地域外(北区)からの協力者を発掘する(発信力向上)、地域内外の大学生 PRの工夫(SNS,若い人の力)、担い手不足対策→北区以外の人々に届く工夫 PRも大切だけど自然と共生の北区の魅力を大切に(開発部分は) 地域の潟の背中をおす 	自然環境保全のための情報共有・研究、担い手の育成と生きがいや喜びに繋がる自治活動への支援
<ul style="list-style-type: none"> ゴミの不法投棄を防ぐため、松林の下草刈り、間引き、遊歩道の整備 人の目にふれるようにキレイにする(整備) 道路のアクセスの整備 	心地よい空間づくりのための継続的な環境整備
<ul style="list-style-type: none"> 田んぼダム(お米を食べるところから) 食文化の充実・PR、地産地消→長期的 法人化 	環境教育を推進、充実させる取り組み

II. 都市機能が充実したまち

これまでの取り組みの評価	
都市基盤の整備	
(1) 計画的な土地利用	JRが専用道路を分断しており整備が不十分である
	新潟中央環状道路の事業化が遅れている
(2) 道路・雨水対策施設などの整備	福島潟等、治水事業がある程度進んだ
	雨水対策面での農業用排水路の整備が不十分
	雨水・汚水の整備が遅れている
(3) 公共交通の充実	阿賀川島河川の浸水体制が不十分
	公共交通の空白地域がある(ライダー路線脆弱)
	利用者減について原因の深堀がされていない
	交通弱者への対応が不十分
(4) 新潟東港の機能強化	少子高齢化に見合った充実がなされていない
	公共交通の未整備地区が多い
	新潟東港へのアクセス(高速道路・バイパス)が良い
	良くなった
マイナース	物流の集積のためのコンテナヤードの拡大が必要
	港の底が浅く大型船が着けな
マイナース	トラクターミナル整備が不十分

今後の方向性(付箋)	今後の方向性(統合文)
都市基盤の整備	
<ul style="list-style-type: none"> 北区全体の強み・弱みの整理 北区の強みを優先順位付して取り組むビジョンづくり 	道路整備の優先順位、公共交通のニーズに応じた運行の見直しが必要
<ul style="list-style-type: none"> 先進都市に学ぶ 専門家も交えてシンポジウムを月1回のペースで開催する 大学生より将来の北区の発展を提案してもらう 	長期に渡るハード事業推進への理解と意識醸成のためシンポジウムなどのソフト事業を行う
<ul style="list-style-type: none"> 全ての施策を定住人口の増加に結びつける 	
<ul style="list-style-type: none"> ポータルセールスを急ぐ 	

III. 活力ある産業のまち

これまでの取り組みの評価		今後の方向性(付箋)	今後の方向性(統合文)	
魅力ある産業の振興				
(1) 商工業の活性化	ブラス	<ul style="list-style-type: none"> おもてなしクーポン、共通商品券の販売は継続して欲しい。あった方がよい。 地域を限定したクーポンをもっと進める 共通商品券の周知、イベント開催は継続して欲しい 東港の活性化事業 大いに期待!! 	<ul style="list-style-type: none"> 産業の活性化:空き家・空き店舗の有効活用 沼垂テラスは盛り上がっているが、どのように作り上げたか聞きたい。 	空き家・空き店舗の有効活用による活性化が必要になる。そのために沼垂テラスなどの取り組み事例や話を聞きたい。各種セミナーの開催して欲しい。
	マイナ	<ul style="list-style-type: none"> おもてなしクーポン:他のクーポンが色々出たので存在自体を知らない人もいた クーポン:地区で分けるとか業種別で分けた方が使いやすいのでは? クーポンが見ずらかった おもてなしクーポンの配布方法 お店側の評価(成果)は? 金額だけでなく、もっと詳しく 期間を過ぎても使う人がいる 新聞取ってない人は? 東港の活用方法が分からない 	<ul style="list-style-type: none"> ブランド品と飲食店のコラボ ブランド力の強化 ノウハウ等を海外などに流出しないよう保護 ここへ来ないと買えないもの スイーツコンテスト、学生コラボ ブランドとコラボ商品 	大学の授業やイベントで学生コラボの商品を作りだす。例えば、スイーツコンテストを開催し飲食店とのコラボする。また、それらに北区に来なければ買えない商品とすることでブランド力を高める。
	マイナ	<ul style="list-style-type: none"> 減農薬、農家への資材支援、継続して欲しい 次世代農業の推進事業は継続して欲しい(良かった) 農産物の振興、いろいろな店や人から、料理などを作るイベントなど 「しるき〜も」は覚えやすい。なじみやすい 安心安全な農産物のPR いもほり体験 大規模農業改革特区 	<ul style="list-style-type: none"> 職業体験機会 農家の人の高齢化対策 若い人に農業に対して興味を持ってもらう 小学校で農業体験の授業をする コロナ禍で体験ができない 	現在コロナ禍で各種体験ができないが、若い人に興味関心のできる企画をする。また、子供のころから農業に触れる機会を増やし将来に繋げる。
	ブラス	<ul style="list-style-type: none"> 減農薬、農家への資材支援、継続して欲しい 次世代農業の推進事業は継続して欲しい(良かった) 農産物の振興、いろいろな店や人から、料理などを作るイベントなど 「しるき〜も」は覚えやすい。なじみやすい 安心安全な農産物のPR いもほり体験 大規模農業改革特区 	<ul style="list-style-type: none"> 新しくハウスを建てるのではなく、空きハウスを活かして欲しい。 がんばる農家にもっと支援して欲しい ハウスの燃料代が分かる 	空きハウスの活用や燃料代などへの支援の拡充
	マイナ	<ul style="list-style-type: none"> 特産の農産物も販売価格が頭打ち 米作農家米業者がかなり苦しんでるので対策がほしい 農水産業の人材育成 農家レストランは難しい 女性部が出て行っても自分の仕事が忙しい 	<ul style="list-style-type: none"> ICTには興味があるが、普通の農家では使えないのでは? 今はスマホがあたりまえ、ICTも10年後はあたりまえ?? 	ICTセミナーなどをして身近に感じてもらう。はじめは使いこなせないが、少しずつでも使えるようになる(システムの簡素化・感覚化も進む?)
	ブラス	<ul style="list-style-type: none"> 情報化社会の今、フェイスブックでの発信は良い 観光交流 コロナの打撃により人の足が遠ざかっているため情報の発信は必要 テレビ出演 シティチャンネル まるごと北区マップ 幅広い発信 バスツアーも良かった(と、聞いた) 	<ul style="list-style-type: none"> 交通:高速道路が使われてない。パーキング・道の駅に動線をつなげる 	交通網の整備や道の駅などとコラボ
	ブラス	<ul style="list-style-type: none"> 情報化社会の今、フェイスブックでの発信は良い 観光交流 コロナの打撃により人の足が遠ざかっているため情報の発信は必要 テレビ出演 シティチャンネル まるごと北区マップ 幅広い発信 バスツアーも良かった(と、聞いた) 	<ul style="list-style-type: none"> 葛塚まつり。地域の自慢 子どもたちは祭りに行きたい。 祭りの後継者 	子どものころから祭りに参加してもらい地域の自慢と共に後継者を育て発信して行く。
	マイナ	<ul style="list-style-type: none"> SNSは年寄りには難しい 観光客やリピーター客の確保が大変 若い人用と年配者用のメディアの違い 	<ul style="list-style-type: none"> 大学ができて学生(若い人)が増えた。 住むのと遊び・飲みに行くのは別。 若者向けの飲食を増やす。 	増えてきた大学生の訪れとなるような店や企画をして定住させる。上記コラボイベントなども企画して住んでる街を身近に感じてもらえるようにする。

IV. 学び合い、健康で、人にやさしいまち

これまでの取り組みの評価	
学びと健康・福祉の充実	
(1) 学びあ いと生 涯ス ポー スの 支 援	ブ ラ ス 「学・社・民」協働による教育の実施。教育を通じて学校・地域の活力UP! こどもと親世代と地域のつながりづくり。 地域と学校、パートナーシップ事業の取り組み 区報に載る情報は共有しやすい 郷土博物館 多様な催し物が開催された
	マ イ ナ ス コロナ禍での実施形態の工夫。リモートの活用など…。 パートナーシップ事業 学校や先生達によって理解の仕方が違ってきている。 地域と学校とのネットワークづくり どんなこと?どんな人?情報が見えない! 地域の人材育成にまではつながらない 公共施設をまとめるというけれど… 公民館祭り 豊栄前会館よりスペースが狭いため催し物が難しい。文化会館開催希望
(2) 健康に 暮ら せる 地 域 づ くり	ブ ラ ス 健康づくり検診カレンダー全戸配布良好 検診カレンダーの全戸配布はわかりやすくよい 生活習慣病予防、検診受診などの健康づくり推進
	マ イ ナ ス 北区物忘れ検診 受診率が悪い 健康づくりの意識低い OR 格差有り。なぜ必要か 具体的に話しかける 地域の居場所 利用者の固定化を考えていく必要あり
(3) 人 に や さ し い 福 祉 の 実 現	ブ ラ ス 地域包括ケアシステム構築・推進 高齢者に対する手当がなされている
	マ イ ナ ス 地域の医療・介護の方とのつながりが少ない 健康格差に誰がどのように対応するのが可能?考えていく必要あり 誰が民生委員なのかが見えない 次の方が見つからない 民生委員の方の負担 自治会によっては自治会長が兼務している
(4) 子 育 て 支 援 の 環 境 づ くり	ブ ラ ス 子育て世代への情報誌の発行などはとてもよい取り組み
	マ イ ナ ス 担い手になりたい人がいない 若いパパママへの発信の仕方の工夫が必要かも?

今後の方向性(付箋)	今後の方向性(統合文)
学びと健康・福祉の充実	
<ul style="list-style-type: none"> 人材に応じてSNSを併用していく。 全員に配るものを継続する。 自治協の在り方: 共有してやる時も LINEなど北区の区だよりがくるように。 身近な情報・お店・イベント・関わる情報が見ればわかまよう! 	多様なツールで情報を取り入れやすいシステムをつくる
<ul style="list-style-type: none"> ここを見ればボランティアの必要情報がわかるように。 地域ごとの情報をつかまえてもらいやすくする。 情報が見えていることが安心なメッセージになる。 区内の情報を寄せられるようにする。 	住民自身が情報を寄せるとともに、必要な情報が集約されるような仕組みをつくる
<ul style="list-style-type: none"> フォーラムを開催し、そこから参加者・やりたい人を学習会に呼ぶ 	次の担い手を見つけ、担い手としての活動に繋げていく
<ul style="list-style-type: none"> 公のところで民生委員のやりがい・活動の紹介をする。 魅力的なフォーラムをどう作るか? 	マイナス面だけでなくプラス面での自治の活動の認知を広げる
<ul style="list-style-type: none"> お得、お土産、おいしいもの(木崎のなす・コメ・トマト) 小学生・中学生を生かす。 「ずかずか」と学校に入っていく、学校とつながる。 防災・災害での子どもの活用 若い方のアイデアと実行力を生かす。 	地域と学校とがつながり合って地域にある資源(人・モノ・コト)を活かしながら次世代を育成していく
<ul style="list-style-type: none"> 実行委員長をたてて。 運動会と検診を組み合わせるなどのやり方もある。 	既存の行事等を組み合わせて参加者層を増やす

V. 安心安全で暮らしやすいまち

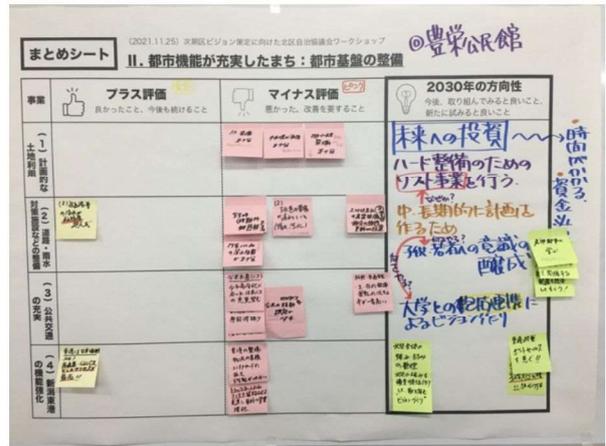
これまでの取り組みの評価		
安全で快適な環境づくり		
(1) コミュニティ活動の推進	コミ協、自治会に補助金を援助して活動支援ができたこと。 運営助成金による支援 地域活動助成金による活動支援はよいと思う。(ボランティアは継続が難しい) コミュニティの様々な部会が地域や学校に於いて活躍しているのを見かけます。 中学生とコミ協でクリン作戦(ゴミ拾い)年2回実施	
	挨拶が上手にできない子がいる 支援をやめた物もある(敬老会支援) 人材の育成ができたかは不明 本当に人材の育成に使われたか?!今いる人だけで完結しないといけない、、、 地域活動補助金については今一步。 コミュニティは、利潤を追求する団体ではない。従って、財政的にも非常に弱く、支援が必要。 コロナで会合できず、補助金が出ない。	
	中学生も参加する時があったのが良かった 防災士への(支援有り) 防災士の研修・新規防災士さんへの支援等 指導できる人材の育成・スキルアップは良いと思う。スペシャリストの存在は心強い!! 防災について勉強会が行われた 年一回の全町内合同で行われる防災訓練はとてもいいと思います	
	コロナで地域の防災訓練などができなかった。 防災士はもう少しアピールした方がいい。 北区は女性防災士、若手の防災士がととても少ない。新たな人材育成が必要なのでは? 防災意識の高い人や防災士だけがスキルアップしても本当の意味での地域防災力の向上にはつながらないと思う。一般人の意識の向上を!! 若者世代、乳幼児のいる家庭の意識向上に力を入れていくべき!! 各町内会でも防災を想定した話し合いや行動をどうするか、確認すればいい気がします。	
	(2) 地域の防災力強化	ミニバト青色回転・灯車のパトロールは効果あり。認知症の人の徘徊発見にもつながる。 青バト隊、みまもり隊の皆様毎日のパトロール本当にありがとうございます。 全区の中でも北区の青バト台数、関わる人数は群を抜いている。すばらしい!!北区の特色の一つとしてぜひ継続してもらいたい。 不審者を見つけて通報し、回覧で注意を促した。 防犯講座を行った。 年2回交通安全 朝通学する小学生を横断歩道で見守り、交通指導 高齢者の事故が増えている中で、交通安全教室の実施は、事故の発生防止につながり、良い機会だと思う。 高齢者対象の交通安全教室をもっと増やして。 高齢者が加害者にならないための安全教室を今後検討していく必要あり!! 地区内道路車がスピードを出し過ぎ。 車がカーブで徐行しない。 カーブミラーの設置が進まない。 他人の敷地に樹木が出ている。 秋になると、街路樹の葉が大量に落ちている。 道路にマスクが落ちている。
		ミニバト青色回転・灯車のパトロールは効果あり。認知症の人の徘徊発見にもつながる。 青バト隊、みまもり隊の皆様毎日のパトロール本当にありがとうございます。 全区の中でも北区の青バト台数、関わる人数は群を抜いている。すばらしい!!北区の特色の一つとしてぜひ継続してもらいたい。 不審者を見つけて通報し、回覧で注意を促した。 防犯講座を行った。 年2回交通安全 朝通学する小学生を横断歩道で見守り、交通指導 高齢者の事故が増えている中で、交通安全教室の実施は、事故の発生防止につながり、良い機会だと思う。 高齢者対象の交通安全教室をもっと増やして。 高齢者が加害者にならないための安全教室を今後検討していく必要あり!! 地区内道路車がスピードを出し過ぎ。 車がカーブで徐行しない。 カーブミラーの設置が進まない。 他人の敷地に樹木が出ている。 秋になると、街路樹の葉が大量に落ちている。 道路にマスクが落ちている。
ミニバト青色回転・灯車のパトロールは効果あり。認知症の人の徘徊発見にもつながる。 青バト隊、みまもり隊の皆様毎日のパトロール本当にありがとうございます。 全区の中でも北区の青バト台数、関わる人数は群を抜いている。すばらしい!!北区の特色の一つとしてぜひ継続してもらいたい。 不審者を見つけて通報し、回覧で注意を促した。 防犯講座を行った。 年2回交通安全 朝通学する小学生を横断歩道で見守り、交通指導 高齢者の事故が増えている中で、交通安全教室の実施は、事故の発生防止につながり、良い機会だと思う。 高齢者対象の交通安全教室をもっと増やして。 高齢者が加害者にならないための安全教室を今後検討していく必要あり!! 地区内道路車がスピードを出し過ぎ。 車がカーブで徐行しない。 カーブミラーの設置が進まない。 他人の敷地に樹木が出ている。 秋になると、街路樹の葉が大量に落ちている。 道路にマスクが落ちている。		

今後の方向性(付箋)	今後の方向性(統合文)
安全で快適な環境づくり	
<ul style="list-style-type: none"> ・各自治会ごとに防災組織が必要かな ・地域での自主防災訓練各世代で実施する! ・災害発生時対策の確立 ・防災、自助力の強化→一人ひとりの防災力UP! 受援力向上、困った時に「助けて」と言える子に! ・災害発生時対策の確立 ・女性防災士数の増加! せめて男性:女性(6:4)に!! (本当に女性の数が少ない) ・情報の迅速な伝達システムの強化(不審者情報) 	地域の防災力をより向上させる
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者一人暮らし対策 ・各種配達手段 ・高齢者の交通手段の確立(返納できる→事故が減る) ・医療機関の充実、早く気易いける 	高齢になっても安心して暮らせるような地域づくりを行政とともに
<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化が進むなか、健康・寿命の延伸が必要。人手不足なので、今と同じく年寄りが町を守っていく。健康体操・ボケ防止対策、食生活等実施 ・健康寿命の延伸!! 元気な高齢者が増えるような対策必要。 	健康寿命の延伸をはかる
<ul style="list-style-type: none"> ・若者が地域に関心を持つような活動や取り組み。コミ協や自治会に若者を! ・地元の若者にどうやったら参加してもらえる。 ・地域(コミュニティ)おそれおおいと感じているようだ。 ・アパート住民とのコミュニケーション(アパート1つで地区になってしまふ) ・外国人の方が住みやすくなるようにするためにはどうするか。 	まちづくりやコミュニティに対する関心を高め、誰もが参加しやすい状況をつくる
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを生み育てやすいまちづくり(友達関係が大切) ・老人クラブの協力が必要と思われる。 	若い世代が子どもを生み、育てやすいまちづくりを行う
<ul style="list-style-type: none"> ・自治会、町内会の強化を図る。そのために行政から支援が求められる。特に若者の参加。 	自治会、町内会の強化を図る
<ul style="list-style-type: none"> ・運動(スポーツ)の行う場所の確立 	運動(スポーツ)の行う場所を確立する

■各グループの意見交換の記録（ワークシート）



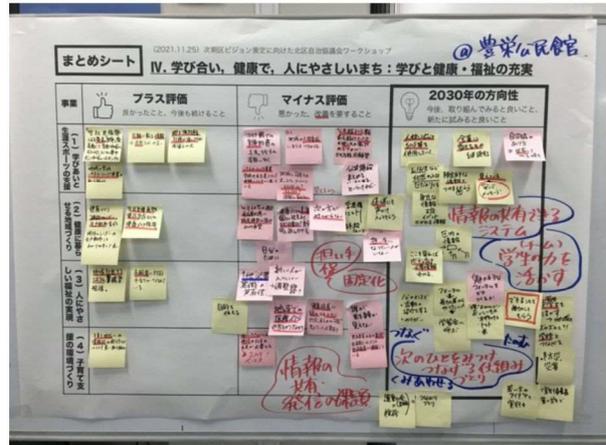
1 班



2 班



3 班



4 班



5 班

■準備運動「北区の強みを探せ！」まとめ

分類	小分類	グループ	分類	小分類	グループ
あ た か な 人 ・ コ ミ ユ ニ テ イ	出会いが多い（地域の魅力発信ができる人が多い）	I_自然共生	地 域 の に ぎ わ い	市場の開催	II_都市機能
	人が優しい	III_産業		朝市が盛ん	III_産業
	人があたたかい	IV_学び・健康		市がある	IV_学び・健康
	人がやさしい	IV_学び・健康		松浜市場	V_安心安全
	言葉があたたかい	IV_学び・健康		松浜市	V_安心安全
	人がやさしい	IV_学び・健康		ござれや花火	I_自然共生
	声をかけてくれますよ	IV_学び・健康		ござれや花火文化	I_自然共生
	人が優しい❤️	V_安心安全		花火がある	I_自然共生
	やさしい人が多いと思う	V_安心安全		ござれや花火	II_都市機能
	じじたち元気！！いい人❤️	V_安心安全		ござれや花火	IV_学び・健康
	人が良い	II_都市機能		豊栄祭り	IV_学び・健康
	子どもたちが素直	IV_学び・健康		葛塚市がある	IV_学び・健康
	自 慢 の 食 文 化	地元ならではの料理がある		I_自然共生	豊 富 な 農 産 物
飲食店が多い		II_都市機能	果物が多い	I_自然共生	
しるきーもおいしい		IV_学び・健康	農産物	I_自然共生	
大福がおいしい		IV_学び・健康	多くの農産物がある	I_自然共生	
バスタがおいしい		IV_学び・健康	農業の活性化（減農薬等）	I_自然共生	
野菜特売場 大にぎわい		V_安心安全	海産物がたくさん	II_都市機能	
食べ物が美味しい（新潟全体にどこでも）		V_安心安全	農産物が多い	II_都市機能	
しるきーも・トマト・焼きなす おいしい野菜たくさん！		V_安心安全	農作物が豊富	II_都市機能	
米菓 有名なお店たくさん！		V_安心安全	青果物出荷量が多い	III_産業	
わらびやさん・栗原製菓さん スイーツめっちゃおいし		V_安心安全	おいしい農産物がいっぱい	III_産業	
地 域 の 学 び の 拠 点	酒が美味しい（日本酒）	V_安心安全	豊栄トマトおいしい	III_産業	
	水俣病学べる	IV_学び・健康	野菜、トマト・ナス	III_産業	
	小・中・高・大学がある	I_自然共生	お米の生産が盛ん	III_産業	
	小中高大他、社会教育施設がそろっている	I_自然共生	お米がおいしい	III_産業	
	図書館	I_自然共生	トマトの面白いのがある	IV_学び・健康	
	北区郷土博物館	I_自然共生	お米がおいしい	IV_学び・健康	
	ビュー福島潟	I_自然共生	おいしい農作物	IV_学び・健康	
	学校・地域連携で子どもたちが地域の魅力について学び発信してくれている	I_自然共生	お米おいしい	IV_学び・健康	
	大学がある	II_都市機能	ル・レクチェ おいしいし都会では品薄	IV_学び・健康	
	大学の存在	II_都市機能	トマトおいしい	IV_学び・健康	
	大学	II_都市機能	野菜がおいしい	IV_学び・健康	
	文化会館がすてき	III_産業	なすの種類多い	IV_学び・健康	
	新潟市の公文書館ができる	III_産業	野菜安くて新鮮	IV_学び・健康	
	大学がある	III_産業	農業	V_安心安全	
学生が集まる	III_産業				

分類	小分類	グループ	分類	小分類	グループ	
豊かな自然環境・風景	福島潟がきれい	IV_学び・健康	豊かな自然環境・風景	通学路で白鳥見れます・スゴい	V_安心安全	
	12潟 アサザ・ガガブタ	IV_学び・健康		海岸	V_安心安全	
	福島潟菜の花キレイ	IV_学び・健康		海がきれい(特に夕日)	V_安心安全	
	自然が豊か	I_自然共生		海にしずむ夕日	V_安心安全	
	自然(水辺)	I_自然共生		浜山辺	V_安心安全	
	自然が多くある	I_自然共生		山が近くにある	V_安心安全	
	自然文化のイベントの充実している	I_自然共生		福島潟	V_安心安全	
	住宅の中にも自然があり癒しがすぐそばにある	I_自然共生		福島潟 オニバスデカイ!	V_安心安全	
	福島潟	I_自然共生		松浜のひょうたん池	V_安心安全	
	福島潟がある	I_自然共生		鮭魚の風景	V_安心安全	
	福島潟がある	I_自然共生		樹齢400年の夫婦けやき(太田)	III_産業	
	野鳥にあえる	I_自然共生		恵まれたインフラ	公共施設が近くにある	IV_学び・健康
	星空がきれいで星が観察できます	I_自然共生	鉄道 急行が止まる		IV_学び・健康	
	阿賀野川	I_自然共生	高速道路から近い		IV_学び・健康	
	島見浜	I_自然共生	漁港がある		I_自然共生	
	海がある	I_自然共生	東港		I_自然共生	
	海岸がある	I_自然共生	東港		I_自然共生	
	白鳥のいる田んぼがある	II_都市機能	松浜漁港		I_自然共生	
	自然、海、潟、川がある	II_都市機能	漁業がある		I_自然共生	
	豊かな自然	II_都市機能	JR		I_自然共生	
	自然の宝庫福島潟	II_都市機能	高速道路		I_自然共生	
	自然に恵まれている	II_都市機能	交通アクセスがよい		I_自然共生	
	観光スポットの福島潟	II_都市機能	飛行場に近い		I_自然共生	
	高森の大けやき	III_産業	飛行機の腹が見れる		I_自然共生	
	自然の風景	III_産業	東港と工業地帯がある		II_都市機能	
	自然に恵まれている	III_産業	港がある		II_都市機能	
	福島潟	III_産業	東港がある		II_都市機能	
	福島潟	III_産業	中央に高速、鉄道がある		II_都市機能	
	福島潟	III_産業	交通アクセスが良い		II_都市機能	
	白鳥の飛来	III_産業	新潟に近いのでショッピングに便利		IV_学び・健康	
	福島潟がある	IV_学び・健康	空港がある		V_安心安全	
	風景が素晴らしい	IV_学び・健康	区役所超キレイ		V_安心安全	
	自然がいっぱい	IV_学び・健康	港町		V_安心安全	
	白鳥がたくさん	IV_学び・健康	港が西・東にある		V_安心安全	
	田んぼがいっぱい	IV_学び・健康	魅力的なスポット		安藤忠雄の造った建物がある	II_都市機能
	実りの秋の景色最高	IV_学び・健康			山之上の一等三角点	V_安心安全
	空がきれい	IV_学び・健康			場所 太夫浜霊苑	V_安心安全
	野鳥がたくさんいる ひばり・白鳥・タカ	IV_学び・健康			太夫浜小学校校庭	V_安心安全
	島見浜 泳ぐ・キャンプ・魚釣り	IV_学び・健康		道の駅面白い	IV_学び・健康	
	田園風景が素晴らしい	IV_学び・健康		競馬場	I_自然共生	
	空気がきれい	IV_学び・健康		競馬場	III_産業	
	阿賀野川 河川敷は憩いの場	IV_学び・健康	JRA 新潟競馬場直線!	V_安心安全		
	自然たくさん目にいいです	V_安心安全				

分類	小分類	グループ	分類	小分類	グループ
歴史・ 伝統ある 地域	海岸線の成り立ち（砂丘・砂のまち）	I_自然共生	地元出身の有名人	豊山関	III_産業
	西郷隆盛の投宿地	I_自然共生		すもうの豊山	III_産業
	歴史が豊か（水運・くらしの歴史）	I_自然共生	安心・安全なまち	青パト全区NO1！安全安心❤️	V_安心安全
	集落にそれぞれ文化有り	IV_学び・健康		充実した子育て環境	民間の素晴らしい保育
	西郷さん	V_安心安全	その他	自然災害がない	IV_学び・健康
	木崎村小作争議	V_安心安全		古民家がある	IV_学び・健康
	長い歴史がある地域共同体	II_都市機能		菱の実作家がいる	IV_学び・健康
	新潟平野の地形的歴史	II_都市機能		住宅地帯が適度に散在している	II_都市機能
	農業を主とした歴史と伝統	II_都市機能			
	地域共同体としての伝統がある	II_都市機能			

3. 参加者のふりかえり

シート回収数 19 枚

〈Q1〉全体の満足度

平均値 4.39

(とても満足した：5 満足した：4 普通：3 不満だった：2 とても不満だった：1として算出)

〈Q2〉Q1でそう思った理由は？

■とても満足した（7名）

- ・たくさんの意見が聞けた。
- ・色々な話、内容が聞くことができた。
- ・気軽に意見を伝えあうことができた。活発なワークで楽しかった。
- ・意見を言い合うことで、自分の中の意見を発見できる。
- ・課題が明確になり、改善についても積極的に意見交換がなされたから。
- ・思っていることをとても良くまとめてくださって、私が目指すところも見えた気がしました。
- ・活発な意見交換ができたから！！ファシリテーターの乙川さんが皆さんの考えを引き出し素敵にまとめてくださったので大満足でした。

■満足した（11名）

- ・皆さん、様々な意見・考え方を持っており、参考になった。
- ・普段お話できない方々といろいろな話ができよかった。いろいろな方の意見が聞けて、勉強になった。
- ・いろいろな意見を聴けたこと。
- ・皆さんの意見を聞けてよかった。自分では気づけなかった意見が勉強になった。
- ・皆さん方向性、将来についての意見が聞けてよかった。
- ・自分達の持っていない情報を持った人、視点の違いなど面白かった。
- ・共通に感じていることがわかった。
- ・地域について見直す機会となった。
- ・北区の豊かな自然と魅力を再発見できてよかったことと課題が再発見がありました。
- ・北区のことを改めて考える良い機会となった。
- ・内容について、以前より考えるきっかけとなり、学びが深まりました。

〈Q3〉WSでの気づき

- ・みなさんが魅力ある住みやすい北区にするために、様々な考えをしっかりと持っていることがわかった。まちづくり学校の方がまとめてくださってよかった。
- ・現状を変えたいとの思いがわかった。
- ・いろいろな意見が出た中で、共通して発信の仕方につながっていること。
- ・地区の良さ・問題点など、世代や立場の違いから、考え方、視点、色々あったこと。当たり前であるように思っていたことが実はそうではなかったこと。

- ・北区にもたくさんの魅力があることに気づいた。良い未来につながるというなと夢がふくらんだ。
- ・県外出身で、北区のことは正直知らずに過ごしてることが多かったですが、ワークショップを通して、様々な分野で北区のことを知ることができましたし、将来への期待と課題について考えることができました。
- ・北区のことでも知らなかった事が多かった。
- ・担い手不足がどの分野でも上がっていた。今の良さをつなぎながら、改善を進める人を育てたらよいか。その重要性に改めて気がつきました。
- ・学生の活用、時代にあった考え方必要。
- ・最初、何を話せがいいかわからなかったが、他の人の話を聞いているうちに割と自然に話すことができたと思った。
- ・みんな（参加）が生き生きと発言されたりに気づきました。
- ・参加者の方の色々な考えに触れてとても刺激になりました。自分の考えもストレッチできました。
- ・ワークショップの進め方。→よいところ、わるいところを文字にしてみる進め方がいいですね。
- ・時間が足りないように思った。

〈Q5〉WSで嬉しかったこと・残念だったこと

■嬉しかったこと

- ・皆さんと気持ちよく話げできたこと。
- ・普段関わらない方との話が聞けた。
- ・色々な話が聞けてよかった。
- ・それぞれの立場の話が聞けたことが嬉しかったこと。
- ・考え方を知ることができた。
- ・上で書いたように交流する機会があったのが良かった。
- ・自分たちの方向性に向かって充実した会となったこと。
- ・みなさんが北区のことをよくしようとがんばっていることがわかりうれしかった。
- ・同じ事を考えている人がいて、少しは希望が見えたかな？
- ・勇気を出して思っていることを話せました。同じ思いを持っている方がいることがわかって嬉しかったです。
- ・他の世代の方と話をできるのか不安な点もありましたが、グループの委員の方、ファシリテーターの方が雰囲気づくりをしてくださって、話をするのができて良かったです。
- ・とても楽しく、すすめかた、チーム力の勉強になりました。

■残念だったこと

- ・残念だったことは、4グループの話し合いに参加したかった！！！！
- ・時間が少し足りなかった気がする。時間を延ばすか、グループを少なくするか。
- ・残念なのは、時間が足りないと感じるほど楽しかったこと。（それは、これからもそんな機会を持つことにします。）

〈Q6〉 その他、気づいたことなど

- ・楽しかったです。学生さんともお話できて良かった。
- ・全員が自由に意見交換できたことがうれしかったです。(ファシリテーターに皆さんが気持ちよく道先案内頂いたと思います。)
- ・本日の成果が計画作成にどのように結びつくか？
- ・他のワーキンググループを関連する話題も出たので、全体をまとめたワークショップが必要か？